

# 第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

ふりがな 応募者名		いしかわけん おくのとどぼくそうごうじむしょ 石川県 奥能登土木総合事務所
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ しんまちどおりせん がいろじぎょう 都市計画道路 新町通り線 街路事業
	ふりがな 事業主体	いしかわけん 石川県
	ふりがな 実施都市名	いしかわけん ほうすぐん のとちよう 石川県 鳳珠郡 能登町
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:L=306m ○事業費:4,148百万円</p> <p>○幅員:W=15m(車道3.0m×2、停車帯1.5m×2、車道3.0m×2) ○事業期間:H10~H27</p>
事業の目的		能登町の中心市街地である宇出津地区の空洞化に歯止めをかけ、中心商店街の賑わい再生や地域の活性化を図ること
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<p>・両側歩道の設置や無電柱化による安全安心な歩行空間が確保された。</p> <p>・整備された沿道空間を活用し、能登の冬の味覚を代表する寒ブリを楽しむ「のと寒ブリまつり」や、毎月定例で「まんなか市」を開催するなど、中心市街地の賑わい創出に寄与した。</p>
	定量的効果 (検証済の場合記入)	
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>官民協働で良好な沿道景観を形成するために、地元住民主体の「能都・街なか再生・まちづくり協議会」が設立され、まちづくりの方向性やルールを検討し、街路事業と連携してまちづくりに取り組んだ。協議会では、行政主導のトップダウン方式ではなく、計画段階から住民参加によるボトムアップ手法により、検討を進めた。</p>

# 事業位置図

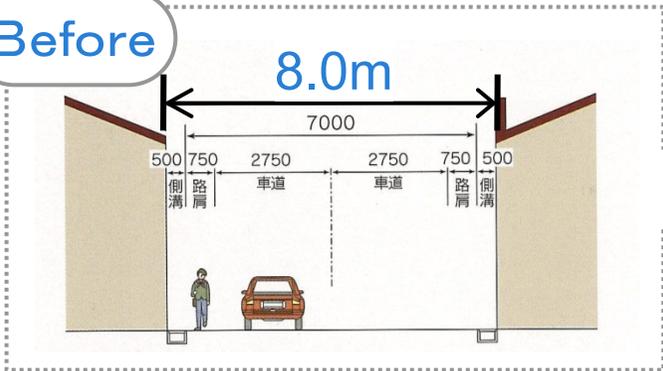


全体図(平面図・横断図)

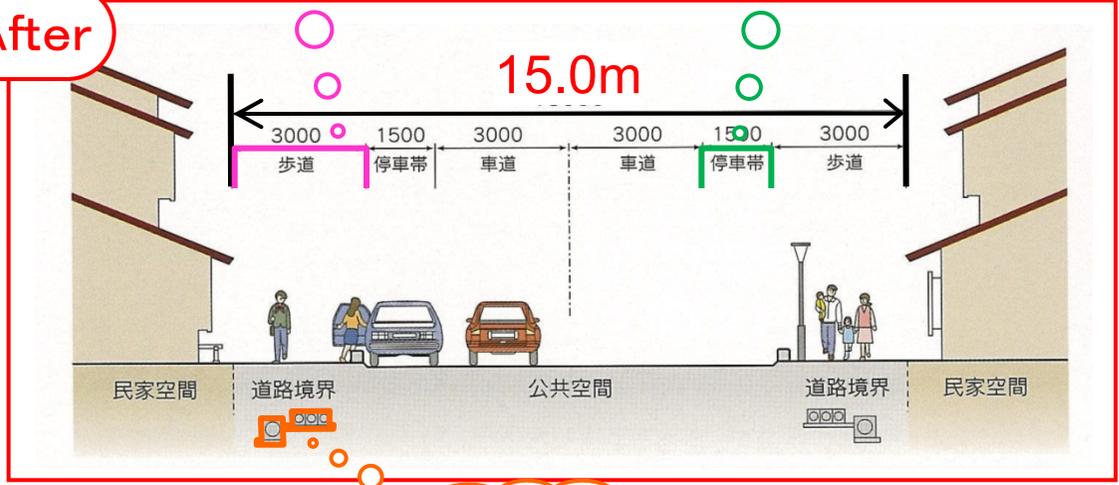
歩道空間の整備

停車帯の整備

Before



After



無電柱化



# 事業前写真

平成21年4月撮影



平成10年以前撮影



平成10年以前撮影

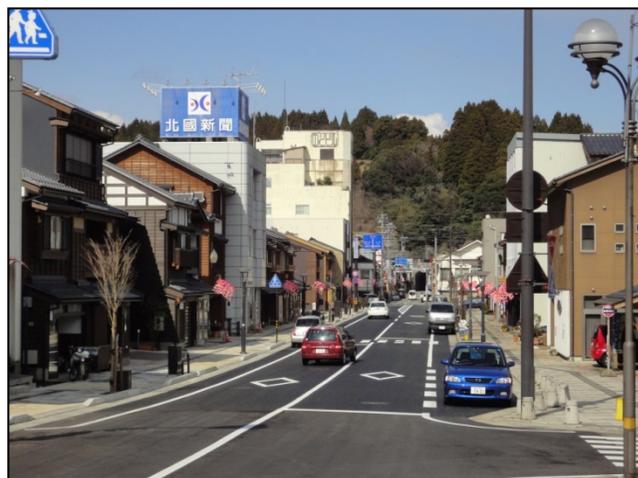


# 事業後写真

平成28年6月撮影



平成22年4月撮影



平成28年7月撮影



# 新町通り線の整備効果アピール資料



まちづくりルールによる  
統一された街並み



無電柱化  
修景整備



「のと寒ぶりまつり」の賑わい



オリジナル歩道照明灯



地元小学生製作の鋳物レリーフ

## 「整備効果」

- 現道幅員8mを拡幅し、両側歩道の設置や無電柱化による安全安心な歩行区間を確保
- まちづくりルールの策定による統一された街並み景観の形成

## 「その他の事業効果」

- 歩道内に地元小学生の製作したレリーフの設置や地元商店街のおかみさんが製作した石版を飾った街路灯を設置するなどの地元と一体となった取り組みを実施した。
- 整備された沿道空間を活用し、能登の冬の味覚を代表する寒ブリを楽しむ「のと寒ぶりまつり」などを開催するなど、中心市街地の賑わい創出が図られた。

## 事業効果一覧表

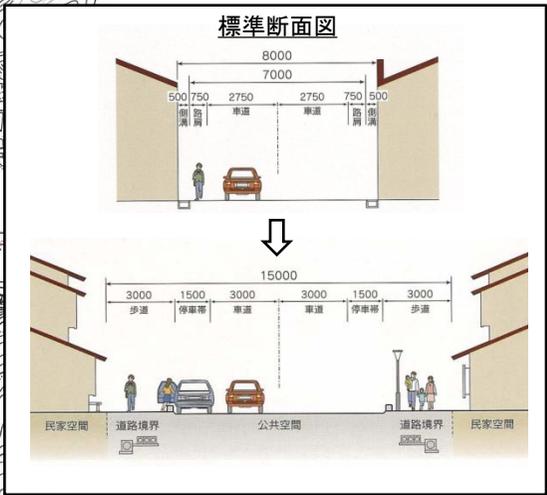
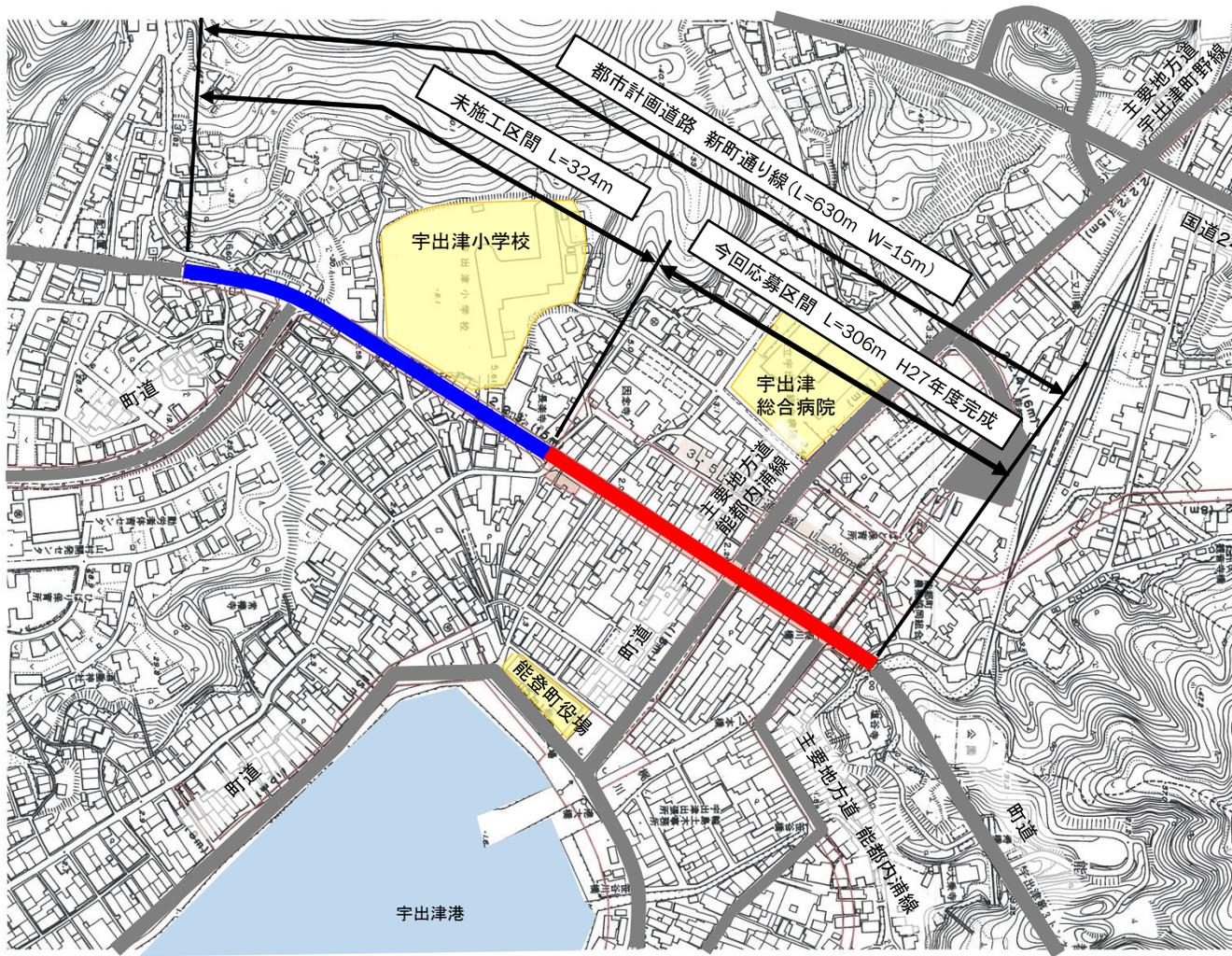
大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備水準の低い地域の改善に寄与した。</li> <li>・道路ネットワークの形成に寄与した。</li> </ul>	○
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。</li> </ul>	△
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。</li> </ul>	△
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の防止に寄与した。</li> </ul>	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。</li> </ul>	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。</li> </ul>	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。</li> </ul>	◎
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化に寄与した。</li> </ul>	◎
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。</li> </ul>	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道環境の改善や充実性に寄与した。</li> </ul>	◎
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。</li> </ul>	◎
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。</li> </ul>	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。</li> <li>・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。</li> </ul>	△
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。</li> <li>・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。</li> </ul>	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

# 路線全体の進捗状況

## 都市計画道路 新町通り線



### 凡例

- 今回応募区間
- 施工済区間(完成区間)
- 未施工区間
- 既設道路

# 都市計画図

